

研修教材 矯正社会学 (全訂版)

定価 990円 (本体900円+税10%) A 4判 172ページ

社会学に馴染みのない初学者にも、親しみやすい内容となりました。研修時の教材や試験対策の参考書としてだけではなく、日常の仕事において必携の参考書です。

目次

はじめに

第一部 集団と社会の社会学

- 第1章 社会化と社会統制
- 第2章 小集団の社会学
- 第3章 矯正施設という場と矯正職員
- 第4章 組織とリーダーシップの社会学
- 第5章 集合現象の社会学

第二部 逸脱と統制の社会学

- 第1章 逸脱をめぐる社会学理論
- 第2章 古典派と実証主義
- 第3章 シカゴ学派と社会解体論
- 第4章 アノミーと緊張理論
- 第5章 非行サブカルチャー理論
- 第6章 ラベリング論
- 第7章 統制理論

ほか「考えてみよう」13点, 「コラム」27点を掲載

コラム例

- | | |
|----------------------|---------------|
| ② 社会学の問い - 「子供」の誕生 - | ⑫ 隠語の社会学 |
| ④ 秩序はなぜ成り立つか? | ⑬ 制服着用の意味 |
| ⑥ いじめと権力 | ⑭ 参与観察 |
| ⑨ パノプティコン (一望監視施設) | ⑮ 一般緊張理論 |
| ⑩ 社会のマクドナルド化 | ⑯ ジェンダーと犯罪・非行 |

脚注例



ウェーバーは、人類の歴史を「呪術からの解放」、すなわち、合理化の過程として捉えて近代社会を論じている。合理化の経済的側面が資本主義化であり、行政的・組織的側面が官僚制化であるとされる。



ゴフマン Goffman, E.

1922-1982

アメリカの社会学者。人と人が共に居合わせている日常場面で何が生じているのかという主題を掘り下げて考察した。「ドラマトルギー」「儀礼的無関心」「スティグマ」といった概念を用いて、後の研究者に多大な影響を与えた。



サブカルチャー (subculture) は、下位文化や副次文化と訳される。通常、ある大きな集団の中に、特定の集団があり、そこで有している文化をサブカルチャーと呼ぶ。

公益財団法人矯正協会矯正支援事業部企画調整課 (出版)

TEL: 03-3319-0652 FAX: 03-3387-4454 Email: syuppan@kyousei-lyoukai.jp